



平成30年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年7月5日

上場会社名 株式会社トーセ
 コード番号 4728 URL <http://www.tose.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 渡辺 康人
 (氏名) 中川 尚樹
 TEL 075-342-2525

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第3四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第3四半期	2,892	4.3	84	111.3	96	△25.7	76	322.7
29年8月期第3四半期	2,772	△9.5	39	△70.9	130	35.1	18	△12.8

(注)包括利益 30年8月期第3四半期 81百万円 (2.4%) 29年8月期第3四半期 79百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第3四半期	10.13	—
29年8月期第3四半期	2.43	2.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第3四半期	6,834	5,793	84.5
29年8月期	6,789	5,902	86.6

(参考)自己資本 30年8月期第3四半期 5,773百万円 29年8月期 5,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	12.50	—	12.50	25.00
30年8月期	—	12.50	—		
30年8月期(予想)				12.50	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,625	△1.7	164	△46.7	203	△50.0	134	△35.9	17.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年8月期3Q	7,763,040 株	29年8月期	7,763,040 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年8月期3Q	182,757 株	29年8月期	182,517 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年8月期3Q	7,580,367 株	29年8月期3Q	7,490,319 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成30年7月5日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、「プレイステーション4」の普及拡大が続く中、「Nintendo Switch(ニンテンドースイッチ)」が全世界累計販売台数1,700万台を突破するなど(任天堂株式会社発表)、明るい動きが見られました。また、海外で人気上昇中の「eスポーツ」(エレクトロニック・スポーツ)が2022年の「アジア競技大会」の正式競技に採用され、注目が集まる中、ゲーム会社以外の異業種の参入も相次ぐなど、ゲーム市場のさらなる成長が期待される状況となりました。一方で、スマートフォンゲーム市場は、国内の成長率に鈍化が見られるものの、海外を中心に今後も拡大していくものと思われまます。そういった中、有力なIP(知的財産)を活用した品質の高いコンテンツを供給するため、開発費、運営費及びプロモーション費用が増加するなど、ユーザー獲得に向けた競争がより激化する状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは「サービス業務の拡大」、「グローバル化の推進」、「サービス分野の拡大」及び「収益基盤の拡充」の4つの成長戦略の推進に取り組み、中長期的な企業価値と資本効率の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、複数のスマートフォン向けゲームにおいて運営業務を着実に遂行したことなどにより、売上高は28億92百万円(前年同期比4.3%増)となりました。

利益面につきましては、売上高が増加したことに加え、事業戦略の見直しに伴い、前年同期に比べて東南アジア向けコンテンツ配信事業における先行投資費用が減少したことなどにより、営業利益84百万円(前年同期比111.3%増)となりました。一方で、前年同期に比べて営業外収益が減少したことに加え、為替相場の変動により、当社が保有・運用する外貨建資産の為替差損などを想定以上に計上した結果、経常利益は96百万円(前年同期比25.7%減)となりました。しかしながら、特別利益に投資有価証券売却益85百万円を計上したことに加え、前年同期に比べて投資有価証券評価損が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は76百万円(前年同期比322.7%増)となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機向け1タイトル、パソコン向け3タイトル、携帯端末向け10タイトルの合計14タイトルとなりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①デジタルエンタテインメント事業

当事業におきましては、ゲームを中心とするデジタルコンテンツの企画・開発・運営などの受託を行っております。製品別の内容は以下のとおりです。

ゲームソフト関連の売上は、スマートフォン向けゲームの開発依頼の増加に伴い、適切な人員配置を行うべく、モバイルコンテンツ関連に多くの開発人員を投入した結果、9億6百万円(前年同期比7.0%減)となりました。

モバイルコンテンツ関連の売上は、複数のスマートフォン向けゲームにおいて運営業務を着実に遂行し、運営売上が大幅に伸長した結果、15億47百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

パチンコ・パチスロ関連の売上は、規制強化の影響により引き続き厳しい受注環境が続いたものの、2億25百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

この結果、当事業の売上高は26億79百万円(前年同期比6.4%増)となったものの、一般管理費の増加に伴い、営業利益は1億74百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

②その他事業

当事業におきましては、東南アジア向けコンテンツ配信事業やSI事業、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズによる家庭用カラオケ楽曲配信事業やパソコン向けアバター制作業務などの新規事業を展開しております。

子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズにおいて、新規案件の受注が低調に推移した結果、当事業の売上高は2億13百万円(前年同期比16.5%減)となりました。なお、前述のとおり東南アジア向けコンテンツ配信事業における先行投資の費用が大幅に減少したことで赤字幅が縮小し、営業損失90百万円(前年同期は営業損失1億61百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して45百万円増加し、68億34百万円となりました。資産の部におきましては、仕掛品などが増加した一方で、現金及び預金、売掛金、有価証券、繰延税金資産などが減少したことにより流動資産が2億91百万円減少しております。また、投資有価証券などの減少があったものの、ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定、投資不動産などの増加により固定資産が3億36百万円増加しております。

負債につきましては、賞与引当金などが減少したものの、買掛金、未払法人税等、前受金などが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して1億53百万円増加し、10億40百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いに伴って利益剰余金が減少したことやその他有価証券評価差額金の変動したことなどにより、前連結会計年度末と比較して1億8百万円減少し、57億93百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年4月5日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,536,532	2,505,536
売掛金	778,577	293,411
有価証券	253,848	143,329
仕掛品	261,945	553,929
繰延税金資産	60,441	56,337
その他	57,193	105,482
貸倒引当金	-	△1,025
流動資産合計	3,948,538	3,657,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,261,505	1,287,213
減価償却累計額	△684,207	△696,497
建物及び構築物(純額)	577,298	590,715
工具、器具及び備品	301,165	320,652
減価償却累計額	△282,674	△288,591
工具、器具及び備品(純額)	18,490	32,061
土地	709,565	709,565
その他	68,296	71,773
減価償却累計額	△62,493	△54,726
その他(純額)	5,802	17,046
有形固定資産合計	1,311,156	1,349,387
無形固定資産		
ソフトウェア	25,192	42,541
ソフトウェア仮勘定	-	17,226
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	27,327	61,902
投資その他の資産		
投資有価証券	648,895	602,437
退職給付に係る資産	22,802	20,685
繰延税金資産	9,160	4,780
投資不動産	381,266	706,538
減価償却累計額	△71,545	△78,907
投資不動産(純額)	309,721	627,630
その他	511,760	510,606
投資その他の資産合計	1,502,339	1,766,140
固定資産合計	2,840,823	3,177,430
資産合計	6,789,361	6,834,432

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,708	86,169
未払法人税等	34,041	76,284
前受金	73,502	173,631
賞与引当金	137,890	124,025
役員賞与引当金	-	15,500
その他	268,012	234,892
流動負債合計	596,156	710,504
固定負債		
役員退職慰労引当金	250,978	261,403
その他	39,674	68,757
固定負債合計	290,652	330,160
負債合計	886,809	1,040,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,774,464	3,661,775
自己株式	△172,512	△173,009
株主資本合計	5,882,136	5,768,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,899	△83
為替換算調整勘定	15,029	28,962
退職給付に係る調整累計額	△27,179	△24,188
その他の包括利益累計額合計	△1,250	4,690
非支配株主持分	21,667	20,125
純資産合計	5,902,552	5,793,767
負債純資産合計	6,789,361	6,834,432

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
売上高	2,772,927	2,892,687
売上原価	2,118,473	2,150,540
売上総利益	654,453	742,146
販売費及び一般管理費	614,612	657,954
営業利益	39,840	84,192
営業外収益		
受取利息	9,821	5,612
受取配当金	3,784	3,688
投資有価証券評価益	37,361	2,666
持分法による投資利益	306	-
不動産賃貸料	38,880	45,253
為替差益	15,099	-
雑収入	9,637	10,588
営業外収益合計	114,891	67,808
営業外費用		
支払利息	14	16
為替差損	-	24,134
投資有価証券償還損	-	2,483
不動産賃貸費用	24,100	28,432
雑損失	97	-
営業外費用合計	24,213	55,067
経常利益	130,517	96,933
特別利益		
固定資産売却益	-	1,195
投資有価証券売却益	-	85,724
投資有価証券償還益	-	3,135
新株予約権戻入益	269	-
特別利益合計	269	90,055
特別損失		
固定資産除却損	4	-
有価証券売却損	18,488	-
投資有価証券売却損	5,570	-
投資有価証券評価損	116,544	10,522
特別損失合計	140,607	10,522
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,819	176,466
法人税、住民税及び事業税	15,660	89,172
法人税等調整額	△44,761	12,014
法人税等合計	△29,100	101,186
四半期純利益	19,281	75,279
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,104	△1,542
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,176	76,821

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	19,281	75,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,703	△10,982
為替換算調整勘定	5,474	13,932
退職給付に係る調整額	2,827	2,991
その他の包括利益合計	60,004	5,941
四半期包括利益	79,285	81,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,180	82,763
非支配株主に係る四半期包括利益	1,104	△1,542

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,517,283	255,643	2,772,927	—	2,772,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,732	22,438	34,171	△34,171	—
計	2,529,016	278,082	2,807,098	△34,171	2,772,927
セグメント利益又は損失(△)	201,441	△161,600	39,840	—	39,840

(注)1 売上高の調整額△34,171千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエンタ テインメント事業	その他事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,679,296	213,391	2,892,687	—	2,892,687
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,495	61,287	64,782	△64,782	—
計	2,682,791	274,678	2,957,469	△64,782	2,892,687
セグメント利益又は損失(△)	174,686	△90,493	84,192	—	84,192

(注)1 売上高の調整額△64,782千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。